

特定自主検査対象機械

特定自主検査お済み ですか?

作業前に検査済標章を
確認しましょう



車両系
荷役運搬
機械

●フォークリフト



(カウンターバランス式) (ピッキング式) (リーチ式)

●不整地運搬車



(クローラ式) (ホイール式)

車両系
建設機械

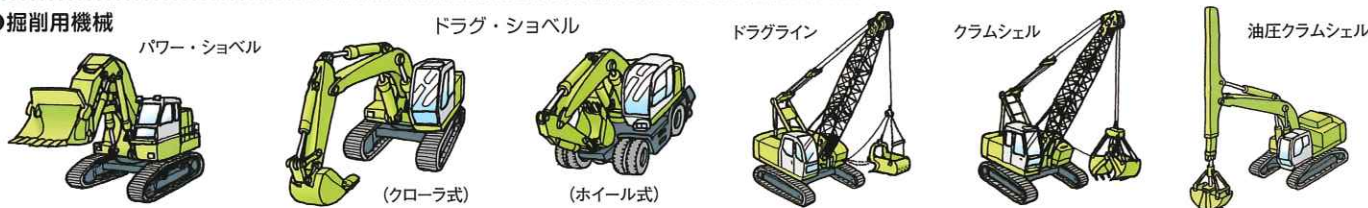
●整地・運搬・積込み用機械



ブル・ドーザー モーター・グレーダー
(クローラ式) (ホイール式)

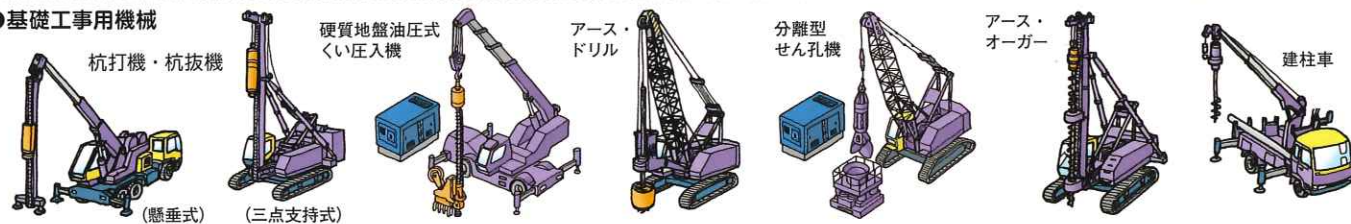
トラクター・ショベル

●掘削用機械



パワー・ショベル ドラグ・ショベル ドラグライン クラムシェル 油圧クラムシェル
(クローラ式) (ホイール式)

●基礎工用機械



杭打機・杭抜機 硬質地盤油圧式くい圧入機 アース・ドリル 分離型せん孔機 アース・オーガー 建柱車
(懸垂式) (三点支持式)

●締固め用機械



ロードローラー タイヤローラー 振動ローラー ハンドガイドローラー

●コンクリート打設用機械



コンクリートポンプ車

●解体用機械



ブレーカ 鉄骨切断機 コンクリート圧砕機 解体用つかみ機 特定解体用機械(ロングブーム)

高所
作業車



ブーム型 (トラック式) (クローラ式) (ホイール式) シザーズ型 (ホイール式) シグマ(Σ)型 (ホイール式)

紙面の都合上、各分類の代表的な機種を掲載しています。



2020年イメージキャラクター
浜辺美波さん



公益社団法人 **建設荷役車両安全技術協会**
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES
千葉県支部 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3F303号
TEL.043(245)9926 FAX.043(245)9927



とくじけんくん





建設機械と荷役運搬機械は、
労働安全衛生法により定期(特定)自主検査が
義務づけられています。



特定自主検査とは

車両系建設機械、車両系荷役運搬機械及び高所作業車については、労働安全衛生法により、事業者は**1年を越えない期間ごとに1回**(ただし不整地運搬車は2年を越えない期間ごとに1回)、定期的に、**有資格者による自主検査**を実施しなければなりません。この定期自主検査(年次検査)のことを**特定自主検査【特自検】**といいます。人間でいうなら年に一度の【人間ドック】や【健康診断】と同じです。



■ どんな検査を行うのか

検査は、各機械ごとに定められた検査事項について実施し、**結果を記録**することになっています。

[安衛則 第151条の21、第151条の53、
第167条、第194条の23]



■ 検査の記録は

検査の結果は、所定の特定自主検査記録表(チェックリスト)に次の事項を記録して、**3年間保存**しなければなりません。

検査年月日 検査方法 検査箇所
検査結果 検査実施者名
検査結果の措置内容

[安衛則 第151条の23、第151条の55、
第169条、第194条の25]



■ 異常があった場合は

事業者は検査の結果、異常を認めた場合は直ちに**補修**などを行い、正常な状態に修復させ、**その他必要な措置**をとらなければなりません。

[安衛則
第151条の26、
第151条の58、
第171条、
第194条の28]



■ 検査する人は

法令で定められた資格を有する検査者、または**登録検査業者**のいずれかによって特定自主検査を実施することになっています。

[安衛法 第45条第2項、第54条の3、第54条の4]

法定検査機器

事業者(ユーザー)からの依頼により特定自主検査を実施する登録検査業者は、次に示す検査機器を最低1セット以上保有することが、法律で決められています。

- 1 圧縮圧力計
- 2 回転計
- 3 シックネスゲージ
- 4 ノズルテスター
- 5 油圧計
- 6 電圧計
- 7 電流計
- 8 探傷器
- 9 摩耗ゲージ



■ 検査済機械には

事業者は検査が済んだ機械には、見やすい箇所(運転席の付近など)に検査を実施した年月を明らかにする**標章(ステッカー)**を貼付しなければなりません。

[安衛則
第151条の24第5項、
第151条の56第5項、
第169条の2第8項、
第194条の26第5項]



■ 検査や必要な措置を怠ったときは

罰則(50万円以下の罰金等)が適用されます。

[安衛法 第119条、第120条、第122条]

確かめる 機械の安全 特自検